

政府 医療機関に病床確保義務付け、違反の場合は罰則 新方針決定

9/2 FNN プライムオンライン

政府は2日、新型コロナウイルス感染症対策本部を開き、新たな感染症に備え、医療機関などに病床確保を義務づけるなどの新たな方針を決定した。岸田首相は対策本部で「地域の拠点病院に有事に担うべき医療の提供を義務付けるなど、平時から計画的に体制を整備することで有事に確実に医療が提供されるようにする」と表明した。さらに首相は「将来の感染症危機において、蔓延初期段階から、迅速に措置を講じることを可能とする」と述べた。

政府は都道府県と協定を結んだ大学病院や地域医療の中核を担う医療機関などに病床確保を義務づけ、違反した場合の罰則を設ける。勧告や指示に応じなければ、診療報酬の優遇を受けられる承認を取り消す方針。また、水際対策の効力を高めるため、自宅などでの待機中に報告に応じない人への罰則も設ける。政府は感染症法などの改正案を国会に提出する見通し。さらに岸田首相は新型コロナウイルスなど新たな感染症の対策を一元的に担う司令塔として内閣感染症危機管理統括庁を2023年度中に創設する方針も表明した。

以下、共同通信

政府は2日、新型コロナウイルス感染症対策本部を首相官邸で開き、新たな感染症危機に備える総合的な方針を決定した。都道府県との事前協定に反し、病床確保や発熱外来開設をしない医療機関への罰則導入が柱。水際対策で自宅待機状況を報告しない感染疑いのある帰国者らに罰則を設ける。対策の司令塔「内閣感染症危機管理統括庁」は2023年度中に創設する。

岸田文雄首相は対策本部で、病床確保に関し「平時から計画的に体制を整備し、有事に確実に医療が提供されるようにする」と述べ、関連法案の準備を進めるよう関係閣僚に指示した。

今日のyoutube紹介下線をクリック

●2022年8月22日(月) 大竹まこと 阿佐ヶ谷姉妹 岡田晴恵 見てね

https://www.youtube.com/watch?v=E_trpSw9U00

●全数把握 4県で見直し開始 「負担減った」一方で混乱も

<https://news.yahoo.co.jp/articles/eff7ac8c4f314f0af8b1d2742156cc29c7bc2d10>

●宮城県内 全数把握見直し始まる 県民は妥当・心配・面倒

<https://news.yahoo.co.jp/articles/5d5ce20173d81aef534b9cbe429d7793d8e748ee>

●医療現場の負担軽減で項目削減新型コロナ感染者の全数把握 岐阜県は当面の間継続項目は4割程に

<https://news.yahoo.co.jp/articles/74a10e7296ceba73033df1a7e8a9ba3ac2506ecb>

●コロナ対策本部開催、「内閣感染症危機管理統括庁」来年度中に設置の方針を決定

<https://news.yahoo.co.jp/articles/460f6b483554b1173fcc46678685189fb590a096>

●全数把握見直し 仙台市が独自に自宅診療者を対象にオンライン診療へ

<https://news.yahoo.co.jp/articles/410e58fef76cdebbf763c1b3903bf2a287303835>

●リスク低い人対象にコンタクトセンター開設 新型コロナ全数把握見直し進める鳥取県

<https://news.yahoo.co.jp/articles/daaleccla762def461aad502164a6e3dd2f0de6a>

今日のPDF紹介下線をクリック

●新型コロナワクチン4回目接種キャンセル急増の背景…予約していた人々に生じた不安

●コロナ全数把握見直し、わずか4県 悪化時の対応「連絡して」

●「最後に顔を見せて」願い届かず…亡くなった妻は“まるで危険物扱い”